

SCOT研修について

概要

SCOT生になるためには、8時間の研修に加えて、課題発表、および最低2回の実地研修を受けることが必須です。これらを終えた後、申請をし、審査を受け、登録申請が承認された学生はSCOT生として活動することができます。また、審査の結果により追加研修を受ける場合もあります。

研修の到達目標は、授業コンサルティングに必要な基礎的知識・技能の習得と、SCOT生としての責任感や態度を身につけることです。

研修では講義・ワークに加え、現SCOT生によるアクティビティなどを通じて、目標達成を目指します。



研修内容

第1回 SCOT・SCOT研修について

第2回 □ 大学のおかれた現状
□ 芝浦工業大学の歴史と建学の精神
□ 単位制とその実質化

第3回 □ シラバス、授業について
□ 深い学習・浅い学習とアクティブラーニング

第4回 コミュニケーション・受容的に聴く力の育成について

実地研修 (2回) 実際の業務と同様に、日程の調整から事前・事後面談・授業観察等を行う

課題発表 「ティップス先生からの7つの提案」の中から一つテーマを選び、考察・調査を行い、発表する

VOICE

SCOT生として経験したことと自身の成長

SCOT第一期生 樋口 将太さん

私の SCOT生としての経験の中で、「通常業務」と呼ばれている業務が私大きく成長させました。通常業務とは、教員との事前面談、授業観察、報告書作成、事後面談からなります。事前面談を設定するために、SCOT生はまずメールでスケジュール調整を行います。

事前面談は教員や授業のことをSCOT生が事前に知ることを目的としています。最初は緊張しましたが、最近は余談を交えながら、業務に必要な情報を細かいくるまで集められるようになりました。

授業観察はいつも新鮮でした。ある講義では私が学んだ方法とは違うアプローチに驚かされ、学んだことのない講義では初めて見る授業運営に驚きました。授業内情報をしっかり記録する中で、自分が見てきた授業や履修してきた授業が、今後提案することになる改善案の一つとなるため、そこから得られる感動は忘れないようにしています。

授業観察の後には、いよいよ報告書の作成です。これまでの事前面談や授業観察で得られた情報から、事実や気になる点、改善案などを記します。事前面談から得られた教員の授業運営のスタイルやポリシーをふまえ、授業観察から得られた教員や学生の動きを客観的にまとめ、事後面談を行うための資料として作成します。この報告書の作成にはとくに気を使います。授業をより良くするために教員に伝えた方が良くと判断される改善点は、はっきりと記すようにしています。

報告書が完成した後、最後に事後面談を行います。ここでは、報告書の内容を確認し、授業について教員とディスカッションをします。ここまでくると、しっかり話することができるようになってきました。

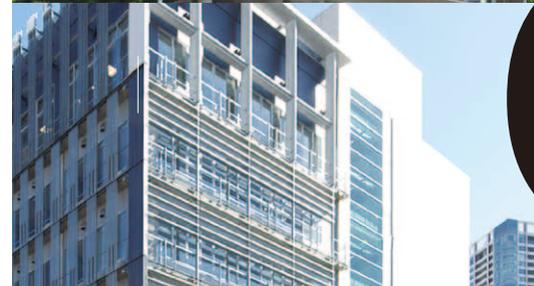
SCOT の通常業務に、私はこれまで10回程取り組んできました。その中で様々な教員に出会い、回を重ねるごとに、緊張の度合いは減り、社会人としてのやり取りの仕方が身につけて行くのが徐々に体感できました。今振り返ると、メールの書き方、初対面の人との会話、書類の作成能力も向上し、気になる点の提示を話し合う方法も良くなってきたと感じています。

これらの経験が、私の就職活動にも強く影響しました。面接のためのメールは難しくこなすことができ、面接官に臆すること無く自分を売り込むことができたと思います。企業が求める人物像に、「適切なコミュニケーションがとれる人」をあげています。私は、SCOT生としての活動を通して、社会人として必要なコミュニケーション能力を高めることができ、それが認められたと考えています。

(教育イノベーション推進センターNEWS LETTERより)

連絡先

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター事務課
〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307
TEL:048-687-5049 FAX:048-687-5048
E-mail:edudvp@ow.shibaura-it.ac.jp



学生による
授業観察と情報提供

「学生の視点」を授業改善に生かす

SCOTとは？

SCOTとは、研修を受けた学生が教員の要望により学生目線で授業観察等を行い、授業改善の支援をする活動です。SCOTは芝浦工業大学におけるFD支援プログラムの1つとして提供されており、教員はSCOT生（SCOT研修を受け、審査・登録された学生）との面談を通して、自らの授業をより良くするためのヒントを得ることができます。SCOT生は、大学での学びに対する意識が向上し、教職員と交流する中で社会性が磨かれ、芝浦工業大学への帰属意識が高まります。



SCOT Q&A



SCOT第二期生
林 愛彩香さん

Q 事前面談までに教員が用意するものはありますか？
A 特にありません。業務に必要なものは事前面談の時に相談しながら決めます。

Q SCOT生は今まで何回くらい業務を経験していますか？

A 経験が多いSCOT生ですと、約10回の業務に携わっています。一人当たり半期に1~2回の業務があります。

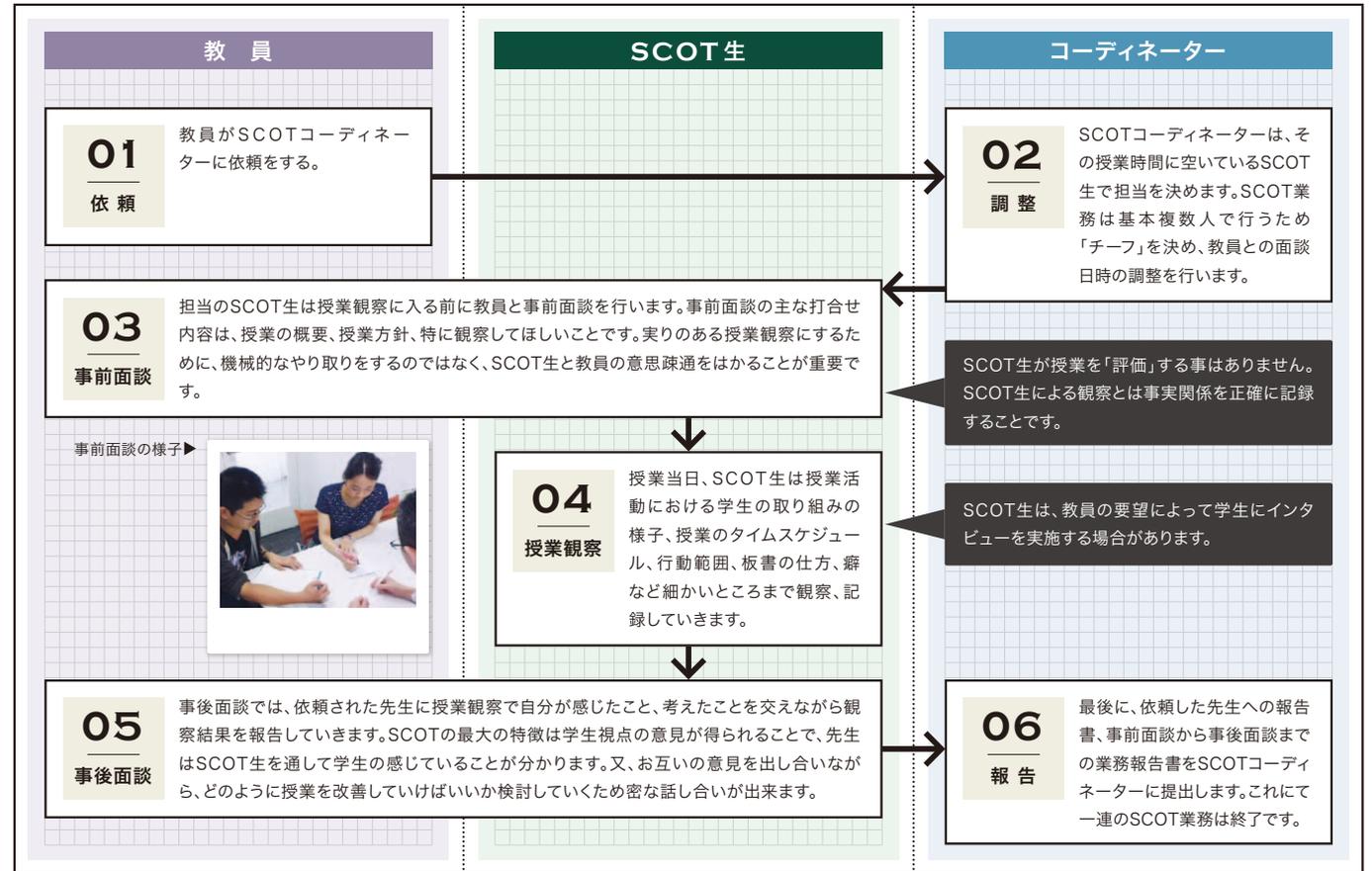
Q SCOT業務依頼で教員が成果物としてもらえるものは？

A どの業務にも報告書という形でレポートが渡されます。それ以外は業務の内容にもよりますが、教室内での先生の動線図やタイムテーブル・時間配分の円グラフが添付されることが多いです。

SCOTを利用するには

教育イノベーション推進センター事務課（大宮キャンパス4号館4階、内線5049）にご連絡頂か、お近くの教育イノベーション推進センターFD・SD推進部門員にお声がけ下さい。

SCOT 依頼から実施終了までの流れ



MESSAGE #01

SCOTを利用された先生方のコメント

- 学生視点で見てくれるので、通常は気が付かない点を指摘してもらえた。
- 報告書は大変詳しい説明があり、参考になった。
- 毎学期SCOT利用をフィックスしてもよい。
- 学科内の教員相互授業参観では得られないものがある。
- SCOT生の対応が非常にしっかりしていることに感心した。こういう「学生の育て方」もあるのだと感心した。
- 他の科目でのSCOT利用も考えたい。
- コンサルテーション後の授業で、すぐに反映できたこともあった。また、来年度の授業に活かしたいと思うこともあった。
- 自分の学科の学生にも、何らかの形でSCOT生のように、人としての成長を促したいものである。

MESSAGE #02

SCOT生のコメント

事後報告時に、先生から「ありがとう」と笑顔で言ってもらえると、依頼を引き受けてよかったと感じます。依頼された先生の授業改善に役立ちたいというのが、SCOT生としての私の目標であり、原動力です。



SCOT第二期生
織田 美里さん